

魯迅と紹興酒

お酒で読み解く現代中国文化史〔東方選書 50〕

藤井省三 著／四六判 286頁／本体 2000円＋税 978-4-497-21819-3

1979年の上海ビールの味、映画に見る北京の地酒、魯迅が描く紹興酒の風景、台湾文学に登場する清酒白鹿、“公宴”、“私宴”、風景の変貌……文学研究という立場から中国の変化を見続けてきた著者が、酒をキーワードに、文学や映画、時には自身の体験を交えながら、改革・開放経済体制以後40年の中国語圏文化の変遷を語る。

本書は、『NHK ラジオ中国語講座』テキスト（2003～2004年）の連載「中国酒で味わう現代文化」を加筆修正し再構成。著者が見た中国における、ここ十年の酒宴の変貌についても新たに書き加えた。

【目次】

I 北京篇

はじめに

- 1 北京のビールは茶碗で飲み、香港の映画は北京で観るべし
- 2 北京の二鍋頭
- 3 中国白酒文化を守れ！
- 4 故宮を見下ろして飲む北京ワイン
- 5 市場経済から“反腐敗運動”へ、中国式宴席の発展
- 6 キャンパスの“居酒屋”と小説「私宴」

II 上海篇

はじめに

- 1 ビールの都、上海
- 2 一九七九年上海ビールのおつまみ
- 3 上海パラマウント伝説
- 4 烏魯木齊路の文化探検
- 5 淮海中路の文化探検

III 地方篇

はじめに

- 1 魯迅による紹興酒の飲み方
- 2 魯迅と紹興酒
- 3 中国的宴会の極北——莫言の『酒国』
- 4 莫言故郷の銘酒と小説「白い犬とブランコ」
- 5 チベットのピクニック

IV 香港・台湾篇

はじめに

- 1 香港・湾仔のスージー・ウォンバーと新界の大栄華酒樓
- 2 香港のバー街・蘭桂坊の物語
- 3 東京の香港グルメ詩人
- 4 台北にバーが流行る理由
- 5 台湾文学の中の清酒

V 世界篇

はじめに

- 1 ニューヨーク・チャイナタウンの紹興酒
- 2 ブラハ地下バーの現代中国詩
- 3 シンガポールで一番旨い酒
- 4 ソウルの新興チャイナタウンで飲む東北白酒

……ただしこの店にはグラスというものが置いてなく、お粥用のご飯茶碗でビールを飲むのだ。さすがに老舗！と私はお茶碗を取りながら、すっかりうれしくなりました。

「北京のビールは茶碗で飲み、香港の映画は北京で観るべし」

東方書店 【中国・本の情報館】 <https://www.toho-shoten.co.jp>

東京店舗 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-3 ☎ 03-3294-1001 / FAX03-3294-1003 / shop@toho-shoten.co.jp
通信販売 〒175-0082 東京都板橋区高島平 1-10-2 ☎ 03-3937-0300 / FAX03-3937-0955 / tokyo@toho-shoten.co.jp
関西支社 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-6-1 ☎ 06-6337-4760 / FAX06-6337-4762 / kansai@toho-shoten.co.jp